

公 表

平成 29 年度定期監査

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により行った、平成 29 年度に係る監査の結果を同条第 9 項の規定により公表する。

平成 30 年 5 月 31 日

積丹町監査委員 山 田 文 雄
積丹町監査委員 葛 西 敏 夫

第 1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づく監査

2 監査対象課等及び監査実施期間と試査の範囲

(1) 監査実施期間

監査は平成 30 年 5 月 10 日から 5 月 24 日までの 5 日間で実施した。

(2) 試査の範囲

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに契約事務が終了した委託料のうち 1 件 10 万円以上のもの、工事請負費のうち 1 件 100 万円以上のもの、全ての備品購入費及び補助金・交付金。（繰越明許費を含む。）

(3) 監査実施課・実施件数及び金額

対象科目 対象課等	委託料		工事請負費		備品購入費		補助金・交付金	
	監査実施 件数（件）	金額（円）	監査実施 件数（件）	金額（円）	監査実施 件数（件）	金額（円）	監査実施 件数（件）	金額（円）
企画課	—	—	1	1,533,600	—	—	5	35,784,208
住民福祉課	4	19,249,621	—	—	1	1,857,600	4	8,796,000
農林水産課	2	32,051,160	—	—	1	399,600	8	28,725,365
商工観光課	1	982,800	—	—	—	—	5	32,251,000
建設課	4	42,930,000	10	252,579,600	—	—	—	—
国保診療所	—	—	—	—	1	1,933,200	—	—
合計	11	95,213,581	11	254,113,200	3	4,190,400	22	105,556,573

3 監査の主眼

監査は、平成 29 年度の委託料、工事請負費及び備品購入費並びに補助金・交付金に係る財務に関する事務の執行について、正確性、合規性及び効率性の視点から適正かつ効率的に行われているかに重点を置いて実施した。（繰越明許費を含む。）

4 監査の実施方法

この監査の実施に当たっては、一般に公正妥当と認められた監査基準に準拠し、関係法令に基づき適正かつ効率的に予算の執行がなされているかどうか主眼を置き、あらかじめ対象となる課や委員会から予算執行状況や契約実績等に係る資料の提出を求めるとともに、諸帳票類その他の財務関係書類について抽出により審査を行い、あわせて関係職員から説明を受け、その内容を確認する方法により実施した。

第2 監査の結果

1 個別意見の区分

監査の結果については、是正又は改善を求めることとした事項を次により指摘事項、指導事項及び検討事項に区分した。

(1) 指摘事項

- ア 法令、条例、規則、通達に違反しているもの
- イ 収入確保に適切な措置を要するもの
- ウ 予算を目的外に支出しているもの
- エ 予定価格の積算に誤りがあり、契約金額が正当な積算金額を上回っているもの
- オ 経済性、効率性、有効性の見地から改善を要するもの
- カ 経営の健全化を図る必要があるもの又は事業の管理運営に改善を要するもの
- キ 火災事故等が発生しているもの

(2) 指導事項

上記のうち軽易と認められるもの

(3) 検討事項

改善を求める事項の発生が制度に起因していると認められるものなどで、その改善について検討させるもの

2 監査結果の概要

今回監査を実施した事務事業については、適正に執行されているものと認められた。

なお、単純な誤謬に起因するものについては、監査時においてその都度指導しているので、本報告の記載を省略した。

収納事務の委託

地方自治法施行令第158条第1項の規定により、次の者に積丹町地域情報通信基盤施設使用料収納事務を委託したので、同条第2項の規定により告示する。

平成30年6月15日

積丹町長 松 井 秀 紀

1. 委託した者の氏名

小泊・厚苔町内会長	馬 場 龍 彦	栄町町内会長	吉 田 眞 治
寺町自治会長	佐 賀 彦 正	多茂木町内会長	奈 良 清 一
柳町会副会長	河 岸 利 幸	婦美町自治会長	酒 巻 徹
浜町親睦会長	成 田 静 宏	幌武意テレビ部会長	長 内 春 樹
山岸町内会長	河 岸 悟 郎	入舸町自治会長	杉 山 賢
西仲町内会長	千 葉 十四男	野塚町内会長	海 田 一 時
中央町会長	橋 場 政 男	来岸テレビ共同受信施設組合長	柏 崎 勝
東浦町内会長	鎌 田 淳 史	余別自治会長	能代谷 政 敏
西浦町内会長	山 田 文 雄	神岬テレビ共同受信施設組合長	山 田 英 雄

2. 委託期間

平成30年6月15日 ～ 平成31年3月31日

まちの目記帳



頑張る「積丹っ子」に歓声！ 運動会・体育大会が開催

5月下旬から6月上旬にかけ、各小学校の運動会と美国中学校体育大会が開催されました。

今年も各種目に全力を尽くした「積丹っ子」一人ひとりに、応援に駆け付けた父母や地域の皆さんから熱い声援が飛び、児童・生徒が練習の成果を懸命に披露したイベントは、地域をあげて盛り上がる歓声の絶えない一日となりました。

また、余別小学校には北海道大学の学生の皆さんによる交流ボランティア協力がありました。



▲美国小学校（全校52名）



▲日司小学校（全校3名）



▲野塚小学校（全校4名）



▲余別小学校（全校8名）



▲美国中学校（全校34名）

“ゴミ”の無いまち自分たちで 美国婦人会が清掃活動

5/28

本格的な観光シーズンを前に、美国婦人会（魚屋友子会長）は町内の清掃活動を行いました。

この日の清掃活動には同会から10人が参加し、火/バサミなどを片手に約2時間をかけて熱心にゴミを拾い集めました。

毎年、このような活動を続けて下さっている美国婦人会の皆さんに感謝を申し上げるとともに、このような地域のボランティア活動が今後更に広がってほしいものです。



町民みんながゲンキに ゲンキ応援プロジェクト説明会

5/31

町と㈱カネカ（東京都）が協同で実施する「ゲンキ応援プロジェクト」が今年度から新たに始まりました。

この取組は、町民の健康を維持したいという町の思いと、素材を社会に役立てたいという㈱カネカの願いからプロジェクトを発足。その説明会が町総合文化センターで行われ、還元型コエンザイムQ10の効果などを参加者に説明しました。

また当日は、和洋女子大学家政学部健康栄養学科教授の鈴木敏和氏からは、健康長寿と栄養についての講演が行われました。

なお、このプロジェクトに興味のある方は、企画課までお問い合わせください。



たくさん遊んだよ！ びくに・みなと保育所合同遠足

6/14

びくに保育所22名とみなと保育所9名の計31名が合同で春の遠足を行いました。

この日は0～2歳児は海洋センター周辺に、3～5歳児はグラスポートに乗船予定でしたが、時化のため中止となりました。

そのため、0～2歳児は保育所内を散策、3～5歳児はB&G海洋センターアリーナでかけっこやおにごっこをし、たくさん身体を動かして遊びました。

春の遠足を通し、それぞれの保育所のお友達との交流を持つ事で互いに刺激し合い、また一つ成長した子どもたちでした。

